



いい仲間、いい仕事、三栄会

San-ei news

編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産(株)事業管理部企画室内
TEL.(03)3285-7816 三栄会ホームページ URL：http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス：SaneikaiTKAOI@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画



文化交流委員会主催第二回「森林フェスタ」開催

料理教室、写真教室、絵画教室、自然環境教室合同



飯盒で炊いたご飯をおむすびに！(料理教室)



文化交流委員会は社会貢献と文化教室の二つが活動の柱として発足して二年が経過しました。それを契機に総合的な文化交流を実現しようと、委員が各教室を横断的に結合した企画を検討してまいりました。その成果である第一回「森林フェスタ」は、すでに実施されている料理教室、写真教室、絵画教室に今回初めて募集された自然環境教室を加えて受講者とその家族を交えて千葉県君津市にある三井物産の亀山社有林で交流しようという内容です。

一月一七日(土)、リンと冷え込んだ朝、東京駅八重洲富士屋ホテルの駐車場に色とりどり



ただ今伐採中、親子の絆を深めます！(自然環境教室)

絵画教室は展望台を通って親水公園へ移動。親水公園をベースに周辺のそこそこにある紅葉を愛でつつ、思い思いに制作を開始。吉武先生の指導を受けて満足する絵画が描けました。特に家族で参加されたお子さんのユニークな色使いは先生の絶賛を受けました。写真教室は自然環境教室と合同で準備体操の後、三井物産社有林内に入って撮影開始。シカの足跡などの自然を観察、紅葉の裏から太陽光の写し方など写真の技術を習いつつ



参加者全員集合



篠利幸先生が指導されている様子(写真教室)

小ピークまでちょっとしたハイキング。軽食休憩してさまざまな自然の横顔を撮影しながらふもとに下り、展望台から親水公園へ移動して絵画教室と合同。良い写真が撮れました。自然環境教室は準備体操の後、二グループに分かれて三井物産フォレスト社の指導で間伐体験。四〇数年生きてきた木を切ることにちよっとした罪悪感を感じつつ、私たちが消費する資源の再生や、間引くことが生かすことという森を守ることを意味を考えました。長さ二〇センチしかない手鋸でも、こつさえつかめば意外によく切れることを実感し、汗を流しました。小学一年生のお子さんも大きな木を切る体験ができました。

料理教室は、そのままバスで清和県民の森へ移動し、高橋先生から自然の中での料理についての話や歴史と自然の講話を聞きながら、「森林フェスタ」のメインイベントである「大バーベキュー大会」の準備に着手。絵画、写真、自然環境教室メンバーが親水公園から到着すると、飯盒で炊いた白米のおにぎりや底に残ったおこげで作ったおにぎり、おいしい鮭のチャンチャン焼に芋煮会、そしてスペアリブやイカ、とうもろこしなどのバーベキューで大懇親会が開幕しました。篠利先生



チャンチャン焼きの下拵え(料理教室)

からのイタリアワインの差し入れもあり、その盛会ぶりはとても言葉では言い表せません。料理教室の皆さん、本当にご苦労さまでした。

時間も迫ったため、名残を惜しみつつ清和県民の森を後に一路東京へ。バスの中では全員がぐっすりの爆睡状態、途中海ほたるでの東京湾の夜景を最後に楽しいイベントの幕が閉じました。

翌週、参加者にアンケートのご協力をいただきました。一〇〇点満点での満足度は？の問いに平均九二点をいただき、これにはスタッフ一同大喜び。当初の目的である「交流」がマイナスイオンたっぷりの中で大きな成果をあげることができたことで、準備の忙しさもすっかり忘れてしまいました。また改善すべき点などの貴重なご意見もたくさんいただき、次回開催に向けての大きなステップとなりました。

また第二弾を企画中です。今回は都合で参加できなかった皆さん、案内を見逃した皆さん、今度こそ逃さないように、そして次回もぜひという今回参加者の皆さん、ぜひ三栄会ホームページの募集広告に注意を払っていただきます！ (三井物産フォレスト 服部)

東京三栄会第二八回通常総会開催

第二九期活動重点テーマは「いい仕事、いい仲間、三栄会」

平成一九年二月三日（一）時より三井物産本店二階会議室において、第二八回東京三栄会通常総会が開催されました。増田会長以下、東京三栄会幹部、会員会社八三社、地方三栄会会長六名にご出席いただきました。始めに今年制作した三栄会紹介ビデオを上映し、続いて地方三栄会会長の紹介、増田会長のご挨拶の後、七つの議案を審議し全て承認されました。総会終了後は二階階ホールデンルームにて懇親会が開かれました。

の代表と多数の方に参加いただきました。まして誠にありがとうございます。また部会と委員会の世話人の皆様には業務多忙の中、この一年間、三栄会活動に貢献いただき本当にありがとうございます。さらに裏方として活動を支えていただいた事務局の皆様もご苦労様でした。皆様のご支援なくして当三栄会の活動は成り立ちません。ご協力いただき心より御礼申し上げます。

任を果たしている皆様が、会員同士の情報交換や、親睦を主たる目的として設立された自主的な任意団体です。一方で、先ほど触れたグループ経営の時代である現在、三井物産グループ企業の一員としての社会的責任を問われるようになってきたと考えています。こうした独立企業間の交流という三栄会の趣旨を活かすべく、企業グループの一員としての経営という社会的要請を両立させるべく、グループとしての一体感の醸成を目的として、この一年活動をして参りました。

●増田会長のご挨拶より

さて、先般公表された三井物産の業績は引き続き好調で、今年度史上最高の決算になると予想されています。その中で皆様の会社も多大なる貢献をされていると聞いております。昨年、会社法が施行されたことにより、連結経営の深化というよりはグループ一体経営とでもいうべき方向性が明確になってきたことはご存知のとおりであり、グループ企業として営業的な貢献はもろんのこと、CSR、コンプライアンス、内部統制などの定性面でもグループ企業全体が一体となって対応することが強く求められているようになってきたと思っております。当三栄会は独立した企業として社会的な責

具体的には会員企業社員間の交流を通じてのグループ意識の向上であります。研修やスポーツ交流、あるいは社会貢献活動を含めた文化交流など、多くの社員の当該活動への参加を通じてのグループ意識の向上であります。研修やスポーツ交流、あるいは社会貢献活動を含めた文化交流など、多くの社員の当該活動への参加を通じてのグループ意識の向上であります。

●**グループ企業としての一体感の向上**
具体的には会員企業社員間の交流を通じてのグループ意識の向上であります。研修やスポーツ交流、あるいは社会貢献活動を含めた文化交流など、多くの社員の当該活動への参加を通じてのグループ意識の向上であります。

●会員会社の減少、より実りのある活動を

この一年、会を取り巻く環境は大きく変化しました。その顕著なものとして、会員数の減少であります。昨年一六五社であった会員が今年は一三八社になり、三井物産関係会社統廃合という方針のもと、今後減少が続くことが予想されております。ただし、会員企業で働く社員の数に大き



総会の様子



三栄会紹介ビデオを上映



総会後の懇親会の様子

●決議事項

- 第1号議案 平成19年東京三栄会活動報告及び承認
 - 第2号議案 平成19年委員会別主要活動報告及び承認
 - 第3号議案 平成19年地方三栄会活動報告及び承認
 - 第4号議案 第28期中交代幹事報告及び承認
 - 第5号議案 三栄会会則改定の承認
 - 第6号議案 幹部改選の承認
 - 第7号議案 東京三栄会第29期活動重点テーマ報告及び承認
 - 2 第29期東京三栄会予算報告及び承認
- 会員総数138社、出席会員83社、表決権行使会員40社

●新幹部体制

- (会長) 増田潤逸(再任) 三井情報(株)代表取締役社長
- (副会長) 豊島 立(再任) 国際油化(株)顧問
- 野村盛厚(再任) 三井物産ゼネラルサービス(株)代表取締役社長
- 香川幸之(新任) 三井石油開発(株)代表取締役社長
- (世話人) 横手海一郎(再任) (株)三井物産ヒューマンリソース執行役員

な変化はありません。すなわち、当会の活動対象となる社員数は変わらないものの、会費を払っていただく会社の数が減ったということです。予算的には厳しくなっておりますが、我々の活動範囲、領域を今後とも拡大していく方向性に変化はないと考えています。したがって現在でもやや不足している委員会、部会活動を担っていた委員の方々がますます必要になってきております。是非とも皆様方の会社からも委員を出すようにご配慮いただきた

く、この場を借りてお願いする次第でございます。当会の活動が皆様のボランティア的な活動によっていること、ご存知のとおりであります。一人でも多くの賛同を得て、より実りのある活動が実現できるよう従来にも増した皆様のご支援を改めてお願いするとともに、最後にはなりま



銀座ブランタンで展示中です

次回は皆さんもぜひ参加されてはいかがでしょうか。(東京三栄会事務局 藤田)

文化交流委員会 写真教室撮影実習を開催

昨年二月に銀座ブランタンにて写真教室を再開してから早十ヶ月。その間、新しい講師に写真家でイタリヤを中心とした写真やフォトエッセイを多数出版されている篠利幸先生をお迎えして六回の講義・講評と四回の撮影実習を行ってきました。優しい語り口と丁寧な技術指導は大変好評です。ここでは撮影実習についてご紹介いたします。

ミネーションの撮影テクニックの四回です。写真とは「絵心」と「コミュニケーション」をモットーに篠先生から数々のテクニックを学んだ一〇ヶ月。受講生の中には本教室で初めて写真を学び「どんな展示会に出しても恥ずかしくない」との先生からのコメントをいただくくらい上達した方もいらっしゃいます。そしてその作品は現在銀座ブランタンのスクー

一回目(八月一日)、銀座ブランタンに集合後、日比谷・銀座界隈を歩きながら「日比谷・銀座界隈の夏の夕暮れから夜にかけて」。二回目(二〇月九日)、教室内に野菜、果物、そして簡単なオードブルとワインをセットし「秋の果物と静物」。三回目(十一月十七日)、文化交流委員会開催の君津市亀山の山林での「森林フェスタ」の中で「秋の紅葉を撮る」。そして本年最後の四回目(二月一日)、新宿のタイムズスクエアに集合しその界隈の「クリスマスイル

では、四回目「クリスマスイルミネーションを撮る」の実習内容について簡単にご案内しましょう。新宿タイムズスクエア周辺はその美しいイルミネーションに人の往来や、ほかのカメラマンなど人々でいっぱい、思うように構図が定まりません。イルミネーションだけでなく人のシルエットをどのように構図の中に入れていいのか、「シャッターチャンスをついちゃって撮る」とや被写体とは別の背景を入れて撮る「写しこみ」の実践です。先生が受講生の目の前で行ったデジタルカメラならではの驚きの「多重撮影」などのテクニックも学びました。真冬の夜の人ごみの中での撮影実習。寒さも忘れあつという間の二時間でした。また一つ友達や家族に目慢できるテクニックを学びました。

三栄会各部会活動報告

金属・エネルギー部会 金属資源分科会

二〇〇七年度金属資源分科会の定例会は一月二日に、会員会社五社の役員に東京三栄会役員および三井物産金属資源本部幹部を加え、計三九名の参加を得て、三井物産本店会議室で開催されました。

増田東京三栄会会長の文化・スポーツ交流会への積極的参画要請を含むご挨拶に引き続き、飯島金属資源本部長より金属資源本部の現況および同本部における物流商内の位置付けを中心とした講話をいただき、「物流と事業は不可分」、「物流なくして事業なし」との力強いコメントがありました。

今定例会は「コンプライアンス」

をテーマとし、国広正弁護士による

ビデオ講演の後、自由討議を行いました。講演では、①コンプライアンスはタテマエ論ではなくリスク管理論である、②マイナスイメージであつても説明責任を果たす必要がある、③「あつてはならない」の呪縛から脱却し、「あるかも知れない、早く手を挙げよ」の企業風土を作り上げる必要がある点に強調されました。

前述の企業風土構築方法を中心に討議した後、木下副本部長よりあらゆるレベルでの日常のコミュニケーションの重要性を主旨とするご講演を得た後、コミュニケーションの実践場として懇親会を執り行いました。

三井物産非鉄販売 田坂

物流分科会定例会

物流分科会は一月三日、東京三栄会より増田会長、豊高・野村両副会長、横手共通世話人、事務局、また物流本部より飯田本部長、関係会社主管四部長のご出席を得て、分科会メンバー九社の代表者が出席して定例会を開催しました。

増田会長、飯田本部長のご挨拶に続き、世話人より平成一九年度の活動報告・①海外物流研修(会員七社より一七名の若手社員が参加、九月実施)、②講習会(テーマ：RFID、グリーン物流、参加者五〇名、一月実施)、③監査役連絡会(京義市原IMT見学会、二月実施)が行われ、最後に九社の各代表者よりそれぞれの会社の近況報告が行われて定例会

会は予定どおり終了しました。

また定例会終了後には本館地下食堂に場所を移し、部会出席者および関係者合計三〇名の参加を得て懇親会が開催され、活発な情報交換が行われ有意義な時間を持つことができました。

(東神倉庫 崎山)

エネルギー分科会

一月十九日、エネルギー分科会の定例会が開催されました。エネルギー分科会では例年会員各社に共通した話題につき講師を招き講演会を開催しています。二〇〇七年度は三井物産多田副社長ほか、多数のエネルギー本部の幹部、東京三栄会の役員ならびに会員会社七社の役員に

は、現下の石油情勢の下、産油国として最も注目されるサウジ・ペトロリウム日本支社の小池栄樹副社長を招き行われました。

小池氏は三井物産OBで一九八六年に同社を退職され、その後、サウジアラビアの国有石油会社であるサウジ・アラムコの日本支社においてエネルギービジネスを中心に日サ間の政府・石油業界の交流の重職を担ってこられた御仁です。

講演は「日サ間のエネルギービジネスとサウジ・アラムコの動き」を中心に行われ、その中でサウジ・アラムコは今後三井との新たな絆を築くことを大いに期待しているとの紹介がありました。一方、一九九九年よりサウジアラビア・ロイヤル・カップ(競馬)の日本開催、また、二〇〇二年よりリヤドにおいてジャパ

文化交流についても紹介がありました。講演会終了後、講師の小池氏を囲み多数のエネルギー本部の幹部および会員各社の役員が集って懇親会が開催されました。

二〇〇七年度三栄会化学品部会を一月二十七日に開催しました。いつもながらの部会の晩秋、初冬のもと、三栄会幹部の皆様には部会・懇親会にご参加いただき感謝いたします。

三井物産からは井澤専務をはじめ両本部長ほか、化学品部門幹部多数のご参加をいただきました。横手共通世話人から、今年度の各部会や委員会のお話をいただき、その中で、社会貢献活動としての「盲導犬協会への寄付」、「カンボジアの小学生への楽器・文房具の寄付」活動が紹介されました。部会世

話人は化学品部会としての前回キャンペーンへの協力度合いを報告し、今回のキャンペーンには一層の協力をお願いしました。

第二部の講演会は、M B K化学品部門出身者である名古屋大学大学院の西村真教授に「企業における心のケア」と題するお話を伺いました。ご専門ではないわけですが、名古屋地区での企業との関わりの経験も踏まえたお話で、かえって新鮮であつたとともに、企業側からの見方として非常に参考になる講演でした。第

三部懇親会は昨年同様に会話が弾み、なかなか散会の雰囲気とはならない貴重なひとときとなりました。最後に、三栄会事務局(事業管理部企画室)、部会事務局(物産化学品インフォロジ)のご協力に対し感謝申し上げます。

三井物産プラスチック 中山

【地方三栄会活動報告】

【北海道三栄会】

本年度は「体感プログラム」で環境意識の普及に努める

北海道三栄会は、札幌地区に展開している三四社が加盟し、各種セミナー開催やボウリング大会など、若手や女性が活発に参加している元気な三栄会です。昨年度のセミナーでは、爆発的な普及を遂げている「電子マネー」を取り上げました。また「音楽とワインの集い」では弦楽四重奏を聞きながらいろいろなワインを堪能、女性を中心に五七名の参加がありました。

「メンタルヘルズ研修」では、万病の元のストレスを分析し、うつ病への対応を話していただきました。また、初の試みで「新人・新着任者歓迎会」を開催し、三六名の参加者の前で新着任者が自己紹介をし、二次会では踊りを交えて懇親を深め和気あいあいとした歓迎会を行いました



ボウリング大会にて嬉しそうな受賞者の方々

た。この催しは三栄会の活動内容紹介のためにも恒例行事として継続して行く予定です。

本年度は、三井物産社有林で間伐・植林をする「体感プログラム」を行い、環境意識を北海道三栄会全体に広げて行く予定です。北海道三

栄会会長日本ユニシス秋山支店長を中心に、管理職から一般社員まで一つの輪となつて、大いに笑い、大いに学びながら、グループ関係会社間のコミュニケーションの機会を広げる企画を行っていく所存です。

(北海道三栄会事務局)

【中四国三栄会】

出張研修および

第二回中四国三栄会通常総会

二〇〇七年一月十九日、二〇日の二日間、色川会長(三井物産鋼材販売西日本(株)社長)、瀧副会長(三井物産厚板加工(株)社長)、石黒幹事(日本ユニシス(株)中国支店長)他計一〇名のご参加を得て、出雲・松江にて異業種交流の場を兼ねて掲題研修の実をあげました(特別会員の三井物産中国支社は中四国三栄会事務局として参加)。

和鋼博物館(日立金属・安来工場)

において、本業で「鋼」についてまさに研ぎ澄まされた感覚をお持ちの方々も参加され、館長直々の「たたら製鉄」による和鋼生産に関する説明を受けました。足立美術館では名画・陶芸のみならず日本庭園の美しさを再認識できたことや、日御碕灯台、古代出雲歴史博物館視察および出雲大社参拝など実に盛りだくさんの素晴らしい経験ができました。

すもうあしこし、この七文字の言葉をご存知ですか。すずぎ、もさえび(どろえび)、うなぎ、あまさぎ(若さぎ)、しじみ、こい、しらうお。この七種の魚の頭文字をとつたもので、山陰で句のおいしいものを食べたいとき、知っていないと困るそうです。「ゴールデン出雲そはリエ」の資格をお持ちで大社文化観光試験に優秀合格された石黒幹事のうんちくを傾けたご説明に一同、山陰出雲地区の文化と歴史への思いを新たに

なればビジネス関連の企画を中心に従来以上に三栄会活動を活性化する方針を確認しました。

東京三栄会からは増田会長、野村副会長、横手共通世話人にご臨席いただき、増田会長から東京三栄会の現状、また今後の運営方針などのご披露とともに、九州三栄会の活発な活動に関して褒め言葉をいただきました。

また、九州三栄会岡部会長より「西南戦争進軍の道を歩む」という演題でご講演いただき、当時の歴史を振り返るとともにウィットに富んだお話と実際に歩まれた道中の写真という間に終了。その後、夕刻からホテルオークラ福岡で交流会を開催、会員各社代表の方々と懇親を深め、今年度総会行事は無事終了しました。

(九州三栄会事務局)

【九州三栄会】

第三〇期定時総会開催

一月九日、九州三栄会第三〇期定時総会を開催。会員会社三三社のうち二二社の出席のもと、平成一九年度決算報告・活動報告、会費増額などすべての議案が賛成多数で承認されました。平成二〇年度の活動は三井物産グループの連結経営に資すべく、ビジネス情報交換会の開催



「虹」は古来天と地の架け橋、神様

のための階段ともいわれます。松江城を展望したとき、青空に美しい二本の虹が掛かっていました。美しい二本もの虹にも恵まれた意義のある

東京三栄会スポーツ交流会

第一回スポーツ交流フットサル大会

三井リース事業優勝

第一回フットサル大会が、一月二日(土)、ミズノフットサルプラザ千住にて予選リーグ、二日(日)にミズノフットサルプラザ千住大橋にて決勝トーナメントを行い、二八チーム総勢三四〇名が参加しました。

一日は二八チームを四チーム七ブロックの総当り戦で戦い、上位二位と三位の中で上位二チームの計一六チームが、二日の決勝

トーナメントの一発勝負で戦いました。

優勝チームは三井リース、第二位は三井物産プラントシステム、第三位はジェイエスキューブとなり、決勝トーナメントは一試合一試合が白熱した試合展開となりました。

両日共に天候に恵まれ、栄えある第一回大会が無事成功できたことは嬉しい限りです。この場をお

借りして、大会運営にご尽力賜りました共通世話人、事務局、準備委員会企業、各チーム代表者の皆様には深く感謝いたします。

昨年は、日本でもフットサルリーグ「Fリーグ」が開催され、男女問わずフットサルが気軽に楽しめることであろうと考えます。昨年の大会の反省、課題点を教訓として、次大会以降の大会運営もさることながら、フットサルの魅力を皆で感じることができたら嬉しく思います。

(ジェイエスキューブ 織田)



三井リース事業(株)/MLDフットサル部



(株)ジェイエスキューブ/湘南TOMクルーズ



三井物産プラントシステム(株)/C.A.ARMADA

第二回スポーツ交流ポウリング大会

日本ブランドウィックが圧勝

昨年九月一八日、第二回東京三栄会スポーツ交流ポウリング大会が田町ハイレーンで開催され、一五社、二二チーム、八七名の参加により二ゲーム団体戦、個人戦を和気あいあいながら熱のこもったゲームを展開しました。

結果は個人男子二位までを独占した日本ブランドウィックが圧勝し、団体八連覇を達成。団体準優勝は一冷が、三位は三井リース事業が獲得しました。個人戦では、ハイゲーム三三七ピンを出した日本ブランドウィックの山本大介さんが男子優勝し、アラマークユニ

フォームサービスの佐藤有美さんが女子優勝を飾り、女子ハイゲームは一六二ピンの三井物産トレードサービスの和泉有佳さんでした。

ゲーム終了後、藤松スポーツ交流委員長の挨拶、乾杯で表彰式をかねた懇親会が賑やかに開かれ、恒例となった各社持ちよりの協賛品の抽選会では全員大いに盛り上がり、最後に歓声の中ジャンケン大会でのカラーボール争奪戦を行い、盛況のうちに終了しました。

(中央ビルト工業 大久保)



藤松スポーツ交流委員長挨拶



ポウリング大会熱戦会場



男子、女子個人戦優勝者表彰式



「リーダーシップ研修」立会い報告

変革の時代において、管理職に求められるリーダーシップとは何かをメインテーマとする中間管理者を対象とした「リーダーシップ研修」が(株)日本能率協会マネジメントセンターの佐口直史氏を講師としてお迎えし、二〇〇七年一月二九日(三〇日の二日間)にわたって三井物産人材開発センターにて開催されました。

本研修は東京三栄会主催研修会の中でも毎回好評を得ており、今回も一四社から三〇名が研修に参加して、企業経営を取り巻く内外の環境が激しく変化するため、組織目標達成のために管理者としていかに部下を指導・育成していくべきなのかについて学んでいただきました。



講師によるオリエンテーション風景

今回のメインテーマは、1. 激変する経営環境変化を考察し、従来のパラダイムの見直しを図り、2. 変革の時代に求められるリーダーシップの考え方を学ぶ事により、3. コミュニケーション・エンパワーメント能力と、4. 状況(メンバーのレベル)に応じた効果的なリーダーシップ発揮のスキルを身につけることであり、グループに分かれワークショップ形式で討議し発表する手法は研修参加者にとって非常に有意義かつ効果的な研修であったと好評でした。

研修に参加されたメンバーは、研修ならびに懇親会を通じ、日頃接する機会が少ない異業種間での交流が図られ、同じ中間管理職の立場での役割期待、役割貢献および管理職としての悩みについて大いに意見交換がなされ、プログラムが進むにつれ研修者同士での一体感が生まれました。研修が終了し解散する際も、参加者同士での再会を約束する姿が各所に見られました。

佐口直史講師による「リーダーシップ研修」は、年二回開催されており、メリハリの利いた講義内容は研修参加者からも大好評を得ています。

(物産ケミカル 嶋谷)

お知らせ

(サンエイニュース・71号以降)

- 東京三栄会入会
 - ・甲南ユーティリティ(株) (生活産業部会)
- 東京三栄会退会
 - ・三井物産ハウステクノ(株) (生活産業部会)
 - ・コスモテキスタイル(株) (生活産業部会)
 - ・(株)エム・ビー・ケイマイクロテック (生活産業部会)
 - ・(株)フジサク (金属エネルギー部会)
 - ・(株)やまと (生活産業部会)

東京三栄会加入会社数
138社(2007年12月20日現在)
- 幹事異動
 - ・副会長
 - 〈新任〉香川幸之 三井石油開発(株)代表取締役社長
- 5部会世話人異動
 - ・物流・金属・コーポレート部会/副世話人
 - 〈前任〉崎山信彦 東神倉庫(株)代表取締役社長
 - 〈新任〉淵 雅生 (株)三井物産インシュアランスアンドコンサルティング代表取締役社長
 - ・機械部会/世話人
 - 〈前任〉椎木秀樹 三井物産プラントシステム(株)代表取締役社長
 - 〈新任〉小川慎一 (株)エムエムケー代表取締役社長
- 委員長異動
 - ・スポーツ交流委員会
 - 〈前任〉藤松 努 アラマークユニフォームサービスジャパン(株)代表取締役社長
 - 〈新任〉徳田哲夫 三井物産スティールトレード(株)代表取締役社長